

- 森林を有していない三鷹市では、小・中学校の普通教室への木製ロッカー導入など、森林環境譲与税を主に木材の利用促進及び普及啓発に充てていく方針である。
- 令和元年度においては、以下の取組により学校への木製備品の導入を行った。
 - ・ 多摩産材の木製ロッカーを小学校1校の普通教室（10教室）へ20台導入し、木材の利用促進を図るとともに、児童の通学携行品に係る収納スペースの拡充及び木製製品により得られる温かみと潤いのある教育環境づくりを進めた。
 - ・ 令和2年度以降も、「公共施設木製備品導入プロジェクト」として、各学校の改修時期等を考慮したうえで、小・中学校の普通教室への木製ロッカー導入を計画的に進める。

□ 事業内容

小学校における「公共施設木製備品導入プロジェクト」の推進

- ・ 多摩産材の木製ロッカーを市立小学校1校の普通教室（10教室）へ20台導入した。
- ・ 木製製品の温かみを生かした、潤いのある教育環境づくりを進めた。

【事業費】8,424千円（うち譲与税7,206千円）

【実績】・幅2,020mm×奥行450mm×高さ1,190mmの
木製ロッカー10教室分20台
・木材使用量5.95m³



（導入した多摩産材の木製ロッカー）

□ 事業スキーム



□ 工夫・留意した点

- ・老朽化や収納スペースに課題が生じていた、小・中学校の普通教室のロッカーについて、現在の需要に見合ったサイズの木製ロッカーを整備することで、木材の利用促進とともに、収納スペースの拡充や温かみと潤いのある教育環境づくりが進んだ。
- ・地元である多摩地域の木材の利用促進を図るために、多摩産材を使用した木製ロッカーを導入した。

□ 基礎データ

①令和元年度譲与額	7,206千円
②私有林人工林面積（※1）	0ha
③林野率（※2）	0%
④人口（※3）	186,936人
⑤林業就業者数（※4）	3人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より